

西公民館だより

2018年 9月
発行 西公民館
西町1丁目19-2
Tel925-0442

西公民館社会教育事業 コロコロパーク 夏休み 子ども講座

7月25日(水) 15名参加

『着衣水泳教室』

■セントラルヒットネスクラブで着衣水泳の訓練を受けました。初めに心肺蘇生法のAED操作法を教えてください、次にズボン・Tシャツで緊急時の泳ぎを習いました。



8月4日(土) 14組30名参加

『家族料理教室』

■低学年の子どもと保護者が食推さんの指導で和風チーズタッカルビ・スパイシー野菜スープ・グミキャンディーの料理をして、おいしく頂きました。



1日目 8月20日(月) 15名参加

『絵本のとりかえっこ』

■読まなくなった本と読みたい本を交換しました。本好きな子は興味津々。中学生の読み聞かせがありました。



2日目 8月21日(火) 17名参加

『平和学習』

■「折鶴物語ーケンタとマイコ」のアニメを鑑賞して、折鶴を折り、平和の尊さについて話し合いをしました。



3日目 8月22日(水) 20名参加

『理科実験』

■福山工業高校の生徒7名と先生2名で子どもたちにはずむシャボン玉・チョークアート・スライムの実験を指導してもらいました。みな科学的な反応で物が変わる「不思議さ」を体験して、理科実験は大成功でした。



4日目 8月23日(木) 36名参加

『楽しい工作』

■西小学校の旗手先生からおしゃべりお口と、音譜の形を折り紙で折り、飛行機・切り絵を色紙に貼る工作をしました。



一心に太陽をもち 胸をはって元気に働きましょう-

～はざくらの会 料理教室開かれる～

◆8月23日(木)10:00から西公民館実習室で14名の参加者と食生活改善推進委員のメンバー4名による、料理教室が開かれました。テーマは嚥下機能低下により呑み込みを少しでも改善出来るように、柔らかくした料理作りを体験しました。蒸し魚のクリームソース・みどりの酢和え・デザートに宝石箱と普段家庭で作ったことのない、創作料理でした。途中嚥下障害防止のために口や舌を動かすのが良いと連続発音や早口言葉を色々教えてもらい楽しみながら、最後はごちそうの会食会でした。



～西町協和会 ばら花壇～

♥ばらの花言葉(愛と美)でまちづくり♥

◆8月13日(月)朝、福山市役所のロビーでばら花壇のパネル展がありました。これは国土交通省の依頼で2号線の歩道に個人・事業所がばらを植え管理している団体の写真展でした。その中で興味あったのが西町協和会の写真でした。◆5年前ばら花壇の依頼を知って始められたそうです。始めた頃と現在の写真が張り出され、ばら花壇で町内会の夢を育てているように思えました。町内の皆さんはばらの心(思いやり・優しさ・助け合いの心)で和気あいあいとしたお付き合いがされています。



～避難行動要支援者の避難支援～

「要支援者を見捨てない町内会の取り組みを学ぶ」

◆8月24日(金)7:30より西公民館で、西学区町連主催の災害時の避難行動要支援者の支援制度取り組み学習会が50名の参加で開かれました。福山市福祉総務課の次長と主事が来られてパワーポイントで講義をされました。◆大切な命を守るため、自助・共助・公助の事例について話をされた。災害時には隣近所の地域の絆が強い程、人的被害が少ないことを強調された。地域全体で助け合い、自分の役割をつくっていくことを勧められた。町内会から正副会長と民生委員が熱心に聴講し、災害時の避難場所の問題や避難場所の開設の基準を質問された。



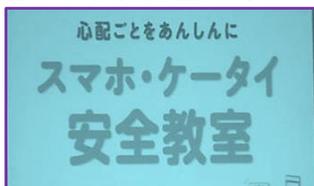
～福山市議会報告会～

◆8月26日(日)10:30より市役所大会議室で市町連中央西ブロック主催の福山市議会報告会が開かれました。9名の市会議員が議会の報告をして、それを200名以上の参加者が聞いて質疑応答する時は熱がこもっていました。◆説明の内容は、①7月の豪雨災害のこと②福山城築城400年事業のこと③新総合体育館のこと④日本遺産の登録のこと⑤受動喫煙防止条例のこと。その他総務委員会の所管し説明する内容がパワーポイントで分かりやすく説明してありました。◆普段政治について全く関心が薄いだけに、市民が喜んでいる福山市は今どういう状態か、どこに向かっているのか考えねばならない話ばかりだったと、西学区の6名の参加者は思いました。



～スマートホン講座&操作法。

◆8月28日(火)10:30、西公民館で「いきいきサロン」が情報部会の担当でスマートホン講座が23名の参加で開かれました。まず警察より携帯での詐欺にご用心と事例を挙げての注意を聞きました。次にNTTドコモの職員3名より①災害用伝言板の使い方をDVDで詳しく習いました。②スマホの操作法として、撮った写真をメールに添付して相手に送るやり方を教わりました。分かりやすい講座で携帯がより身近になりました。



～書籍ご寄贈の披露～

1. 長者町 中島敬子様より
* 戦前の紙芝居
日本教育紙芝居協会刊行 3冊
2. 佐波町 西村様より
* 世界文学全集
小学館刊行 40冊
3. 丸之内 藤井様より
* 藤井文夫版画集
故藤井文夫作 100冊

この度は、知的財産であります高価な書籍を、数多く公民館にご寄贈下さいまして、厚く御礼を申し上げます。

『学区民相互の親睦を図る』 西学区体育会会長 山田泰秀

西学区体育会は現在 14 支部あり、4 月春季ソフトボール大会・9月ふれあい大運動会・10 月体育祭を行っています。また専門部の活動はいずれも夜間で、卓球部が毎週水曜日、バドミントン部が毎週日曜日、フットベース部が毎週土曜日にスポーツ教室を開催しています。

中でも最大の行事は、ふれあい大運動会です。かつては「学区民運動会」と呼んでいましたが、平成 15 年度から西小学校と共催して、名称も「ふれあい大運動会」に変更しました。今年も各種団体のご協力を得て、9 月 30 日に開催いたします。児童・園児の演技、競技の発表の場であると同時に、地域住民の触れ合いの場でもあり、西学区を上げてのスポーツの祭典となっています。

最近では少子高齢化の進展や町内会加入世帯の減少など、体育会の運営にも課題が生じていますが、一連の行事を通じて学区民相互の親睦が図られ、地域としての一体感が醸成されることを期待しているところです。



『未来の女性会を創造しましょう』

西学区女性会会長 石井文子

●女性会の活動目標

- 1 女性の地位向上
- 2 高齢化社会への対応
- 3 政治意識の啓発
- 4 リサイクル運動など循環型社会の実現をめざす
- 5 すこやかな青少年の育成
- 6 人権尊重と地域のコミュニティー推進

●年間の主な行事

4 月 定期総会 9 月 敬老会

3 月 グラウンドゴルフ大会

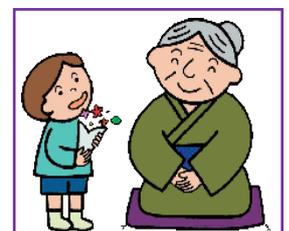
*まちづくり推進委員会・体育会・
南防火協会の行事に協賛

●私たちは諸先輩たちが作り上げて来た、歴史ある西学区女性会を益々発展させたいと頑張っています。しかし、現実には女性の社会的進出にともない若い世代の入会者が少なく、15 支部から 9 支部に、会員数も 10 年前の半数になりました。今こそ女性会のこれからの在り方を考えなければいけない時が来ました。「女性会の素晴らしい未来」について知恵を出し合い、『女性会創造』をご一緒にしていきませんか。



『老人クラブの現状と課題』 西学区老人クラブ連合会会長 持倉相憲

■現在最も大きなテーマは会員の増強です。全国的に会員増強運動が始まり今年が最終年度です。福山市は毎年千人ずつ減少し、30 年度は 23,182 人ですが、西学区は 14 支部 731 名が所属され毎年少しづつ増加しています。■活動の目標は多様な通い場づくり(サロンなど)、見守り支援(声掛け・安否確認)、健康づくり支援(百歳体操・グラウンドゴルフなど)で、健康維持と高齢者を孤立させないような交流を図りながら、地域に貢献する事業を積極的に行うことが求められています。こうした中での課題は、若い人が入会されないために高齢化が進み、単老の中には求められる活動が出来ないといった傾向が散見されます。■そのためにはお世話が出来る人が入会して頂ければ、クラブが活性化して地域貢献も充実していくでしょう。長寿社会にあって老人クラブのやれることは多々あるので、それを喜びとし、生き甲斐と受け止められる方を待望しています。



コロコロパーク◆サツマイモのつる上げ楽しかった◆



【西迫さんの説明】



【つるを優しく上げるのよ】

■8月18日(土)9時からふれあい広場の農園で、参加者29名の親子が佐波町の西迫佳広さんから「さつまいものつる上げ」の指導を受けました。

■早速自分の畑の草を抜いて、つるが折れないように丁寧にしました。終わると水をたっぷりやり、西迫さんから「時々来て水やりと草取りをしましょう」と言われ、皆で一緒に写真を撮ってまちパスを貰って帰りました。次回は10月中旬で、いよいよ収穫になります。楽しみはつきませんね。



【ぼくみたいにして大きくなつてくれ】



【サつまいもを手をかけたはやく育つ】

■8月の「おもちゃサロン」へ行ったよ■

8月7日(火)午前10時~11時30分、西幼稚園2階遊戯室で9組の親子がおもちゃで遊んで、手遊びと絵本を読んでもらって楽しみました。



【さっそくおもちゃ遊び】



【手遊びをしました】



紙芝居【おかあさん見つけた】

【編集後記】 記事を編集し終えた後に飛び込んできた訃報、人の死は生涯学習の礎と思い書きました。

8月25日(土)夕方、西学区まちづくり推進委員会構成団团长で土木常設の江林さんが亡くなりました。長らく地域の土木常設のお仕事をされて、常設委員の代表もされました。昨年5月体調を崩されて、手術の後も厳しい治療で病と闘っておられました。秋にお会いした時はお元気でした。「土木常設のお仕事はお辛いでしょう?」と聞きましたら、「役はこれからもさせて下さい、生きる力になりますから」と笑いながら答えられました。その後はお会いする機会もなく突然の訃報に接して驚きました。

26日お通夜にお参りました。会場内は多くのお友だちで廊下やホールにあふれていました。入口で奥様とご子息様にお悔みを申し上げると悲しみの中からしっかりしたお声がかえってきました。式はおじ様が導師を勤めて多くのお友だちが大きなお声で唱和されました。焼香中もお友だちの唱和は続きました。終りのご挨拶でおじ様と喪主のご子息さまが、江林さんの死の悲しみを力強く受け止め、短いけれど精一杯の人生を讃えられました。

この度、江林さんの死から学んだことは、人はいつかこの世からお別れするけれど、多くの仲間がいること、次の世でも必ず再会できること、命が終わるその時まで大きな命に包まれて人の為に尽くすことが大事だと知らされました。

(西公民館長)